

日本教育大学協会が評議員会を開催

日本教育大学協会（会長＝出口利定・東京学芸大学長）は、6月26日（月）、評議員会をKKRホテル東京（東京都千代田区）において開催し、会員49国立教員養成系大学・学部代表者をはじめ約140名が出席した。

冒頭、出口会長の挨拶では、「昨年文部科学省において、『国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議』が設置され、8月には報告書が出される予定である。また、国立大学協会においても、『教員の養成及び研修に果たす国立大学の使命とその将来設計を検討するワーキンググループ』が設置され、国立大学の教員養成のあり方について議論が行われる予定である。このように、教員養成を巡る課題等について色々ところで検討され、厳しい意見も出されている状況において、本協会も今後のあるべき姿、ビジョン等について検討する必要があると考え、『日本教育大学協会のあり方等の検討に係るワーキンググループ』を設置し、本日第1回目を開催した。今後数回ワーキンググループを開催し、本協会のあるべき姿、ビジョン等についてさらなる検討を行う予定である。」と述べた。続いて、評議員会の議長を藤田詠司副会長（高知大学教育学部長）が務めることについて了承した。

前半の文部科学省による説明では、三谷卓也健康教育・食育課長から学校における受動喫煙防止対策等について、山下直也特別支援教育課課長補佐から特別支援学校教員の専門性の向上等について、長谷浩之教職員課教員免許企画室長から教育職員免許法の改正と教職課程コアカリキュラムについて、柳澤好治大学振興課教員養成企画室長から「国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議」での審議状況について、それぞれ最新の施策説明があり、意見交換を行った。

後半は、①平成28年度決算報告書（案）、②平成29年度事業計画（案）、③平成29年度予算書（案）、④平成29年度日本教育大学協会研究助成採択（案）、⑤日本教育大学協会負担金および地区会費に関する規程の一部改正（案）について審議を行い、提案どおり承認した。その後、①日本教育大学協会のあり方の見直しに係るワーキンググループの設置、②平成28年度事業報告、③各委員会および各地区会報告について報告があった。最後に、教員養成系大学・学部を取り巻く様々な課題等について、意見交換を行った。



出口会長



藤田副会長



三谷健康教育
・食育課長



山下特別支援
教育課課長補佐



長谷教員免許
企画室長



柳澤教員養成
企画室長



評議員会の様子